



2025年6月期 決算説明会資料

株式会社インテリジェント ウェーブ

2025年8月8日

2025年6月期 業績と成果

2026年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

2025年6月期 業績サマリー



- 売上高は、主力の決済領域は堅調に推移し、セキュリティ領域は大手顧客への製品導入等があり増収
- 利益は、一部案件の品質強化対応やセキュリティの製品構成、一部自社製品の一括償却等により減益
- 受注残高は、クラウドサービス、セキュリティ、インフラ運用サービス等のストック型案件を中心に増加

単位：百万円

	24年6月期実績		25年6月期実績		増減	前同比	期初計画
	金額	売上比	金額	売上比			
売上高	14,518	-	15,596	-	+1,077	+7.4%	16,000
売上総利益	4,707	32.4%	4,666	29.9%	△41	△0.9%	-
販売管理費	2,677	18.4%	2,818	18.1%	+141	+5.3%	-
営業利益	2,030	14.0%	1,848	11.9%	△182	△9.0%	2,250
経常利益	2,072	14.3%	1,890	12.1%	△182	△8.8%	2,290
当期純利益	1,420	9.8%	1,349	8.7%	△70	△5.0%	1,590
受注高	20,128	-	19,322	-	△805	△4.0%	
受注残高	16,584	-	20,311	-	+3,726	+22.5%	

2025年6月期 売上高（事業領域別）

- 決済領域は、カード会社を中心とした堅調な投資需要により増加。アクワイアリングは大型案件の開発フェーズ移行により減少。その他分野は、既存顧客の案件数が一時的に減少
- セキュリティ領域は、大手顧客への製品導入等により増加
- データ通信・分析基盤領域は、証券会社向けシステム開発等により増加

単位：百万円

	24年6月期 実績	25年6月期 実績	増減	前同比
売上高	14,518	15,596	+1,077	+7.4%
決済	12,151	12,755	+603	+5.0%
FEP	5,370	5,525	+155	+2.9%
不正検知	1,697	2,604	+907	+53.5%
アクワイアリング	3,059	2,851	△207	△6.8%
その他	2,024	1,772	△251	△12.4%
セキュリティ	1,558	2,022	+464	+29.8%
データ通信・分析基盤	808	817	+9	+1.1%
参考) クラウドサービス	2,504	3,479	+975	+38.9%

* FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

2025年6月期 売上高（顧客別）

- 「DNP」は、セキュリティ製品導入など、セキュリティ関連の売上が増加
- 2、3位のクレジットカード会社向け大型案件は、開発フェーズの移行により減少
- 4位のカード会社は、新規領域の売上が増加

単位：百万円

	24年6月期 実績	25年6月期 実績	増減	主な案件
1. DNP	1,675	1,895	+219	・ TSP開発（スマートフォン決済） ・ システム運用（24/365） ・ 暗号鍵管理システム、セキュリティ製品導入
2. システム開発会社	1,670	1,050	△619	・ クレジットカード会社向けシステム開発等
3. システム開発会社	756	891	+134	・ クレジットカード会社向けシステム開発等
4. カード会社	622	874	+251	・ 複数領域におけるシステム開発等 （FEP・不正検知、決済DX）
5. カード会社	980	853	△126	・ 複数領域におけるシステム開発等 （FEP・不正検知、決済DX）

2025年6月期 売上高（製品カテゴリ別）

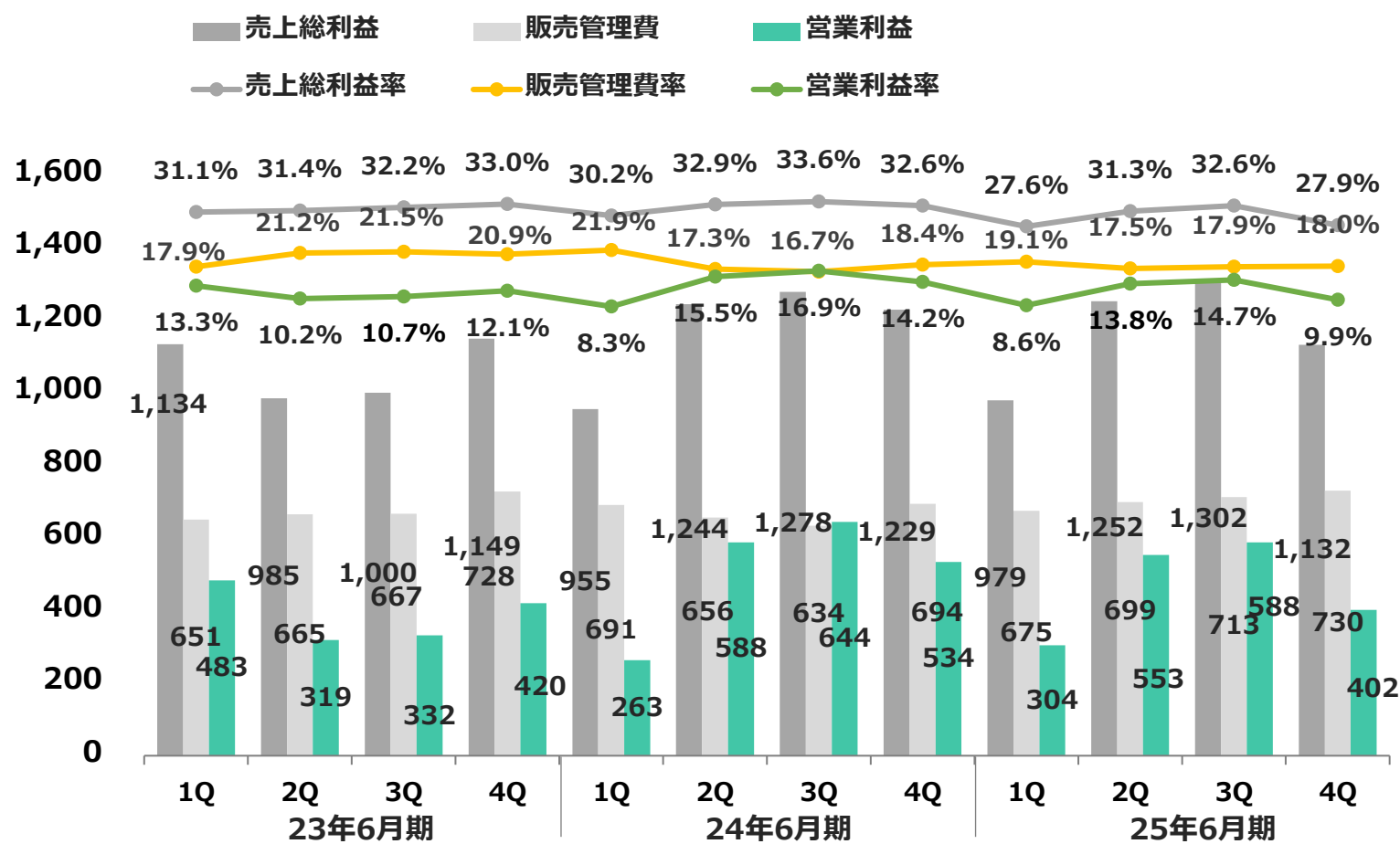
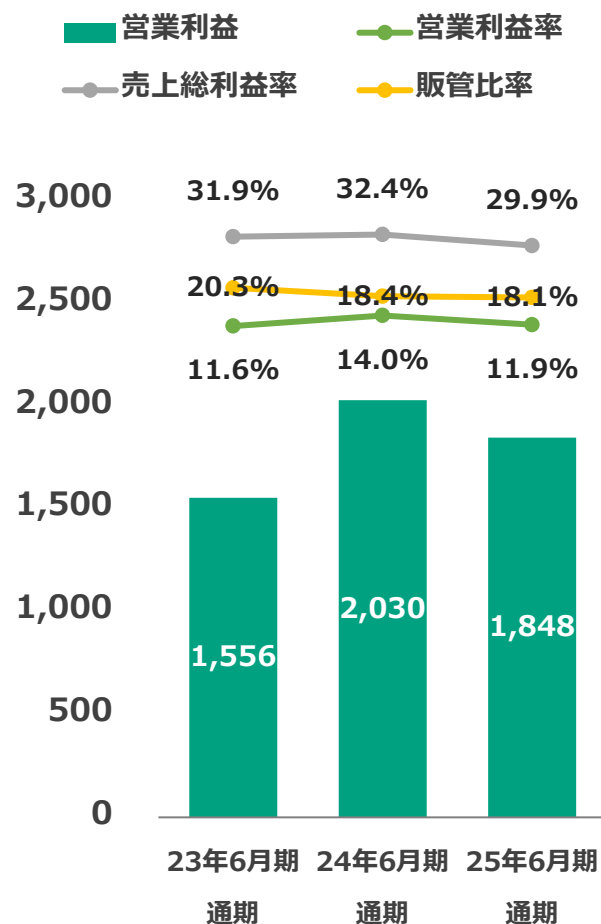
- システム開発は、大型案件の開発フェーズ移行により大幅減少。その他案件は増加するが全体で減少
- 自社製品・サービスは、新規インフラ運用サービスの開始により増加
- クラウドサービスは、ユーザー数増加や、既存ユーザーの機能追加等により増加
- セキュリティは、大手顧客への製品導入等により増加

単位：百万円

	24年6月期 実績	25年6月期 実績	増減	前同比
売上高	14,518	15,596	+1,077	+7.4%
システム開発	7,009	6,838	△170	△2.4%
保守	1,630	1,619	△11	△0.7%
自社製品・サービス	386	548	+161	+41.7%
他社製品（ハードウェア等）	1,428	1,087	△341	△23.9%
クラウドサービス	2,504	3,479	+975	+38.9%
セキュリティ	1,558	2,022	+464	+29.8%

2025年6月期 営業利益

- 売上総利益は、システム開発や保守の粗利率は向上したが、一部案件の品質強化対応や、セキュリティ領域の製品構成、一部自社製品の一括償却等により、全体的な粗利率は低下
- 販売管理費は、主に人件費が増加したが、販管費率は低下



2025年6月期 クラウドサービス

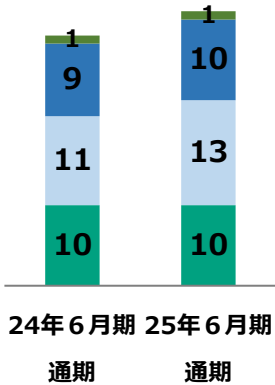
- 売上高は、不正検知サービスのユーザー数増加や、既存ユーザーの機能追加、新規大型案件のリリース等により増加
- 売上総利益は、一部案件において品質強化対応により粗利率が低下。またインフラ費用が増加しているが、インフラ・運用コストの低減や、提供価値に見合った価格の見直しに等により粗利率の改善に取り組む

単位：百万円

	2024年6月期				2025年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	614	969	890	2,761	1,618	1,932	466	885
売上高	592	587	618	705	718	809	981	970
受注残高	6,717	7,098	7,371	9,426	10,326	11,449	10,935	10,850
売上総利益	96	84	94	75	△20	128	178	123

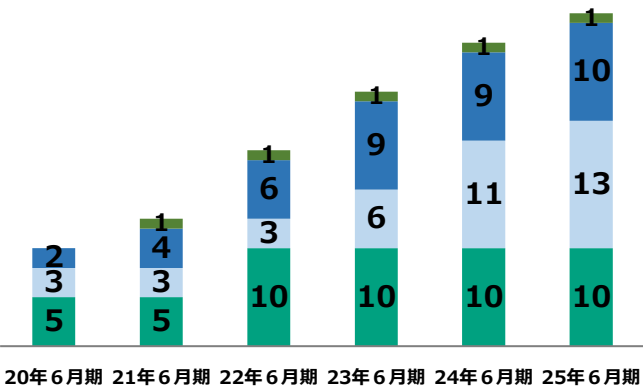
■ 導入社数

■ IOASIS ■ IFINDS
■ IGATES ■ IPRETS



■ 各サービスの概況

サービス名	概況
■ IOASIS	既存顧客の機能追加、取引量増加対応等が増加。新規では地銀を中心に引き合い増加
■ IFINDS	カード不正利用のAI分析データを共有する「FARIS共同スコアリングサービスPowered by PKSHA Security」の導入社数が増加。次世代不正対策プロジェクト「FARIS」において、順次新サービスを投入
■ IGATES	大規模の業界横断の共同利用型プラットフォーム開発が、2025年1月にリリース

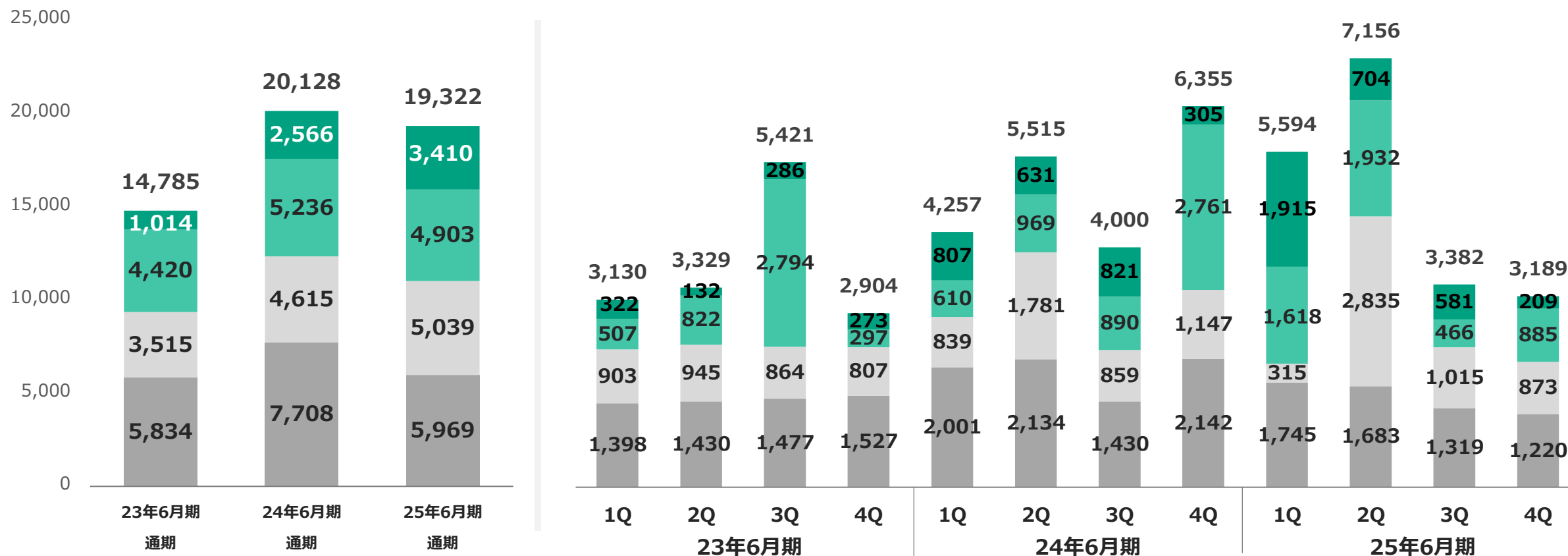


受注高（製品カテゴリー別）

- システム開発は、大型案件の開発フェーズ移行や、既存顧客の一時的な投資抑制等により減少。
来期は、大手カード会社のシステム更改需要が複数あり、受注に向けて活動中
- クラウドサービスは新規参入企業の需要が落ち着き、今後はカード会社の基幹システムのモダナイズ需要等を取り込む

■ …システム開発 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
■ …クラウドサービス ■ …セキュリティ

単位：百万円

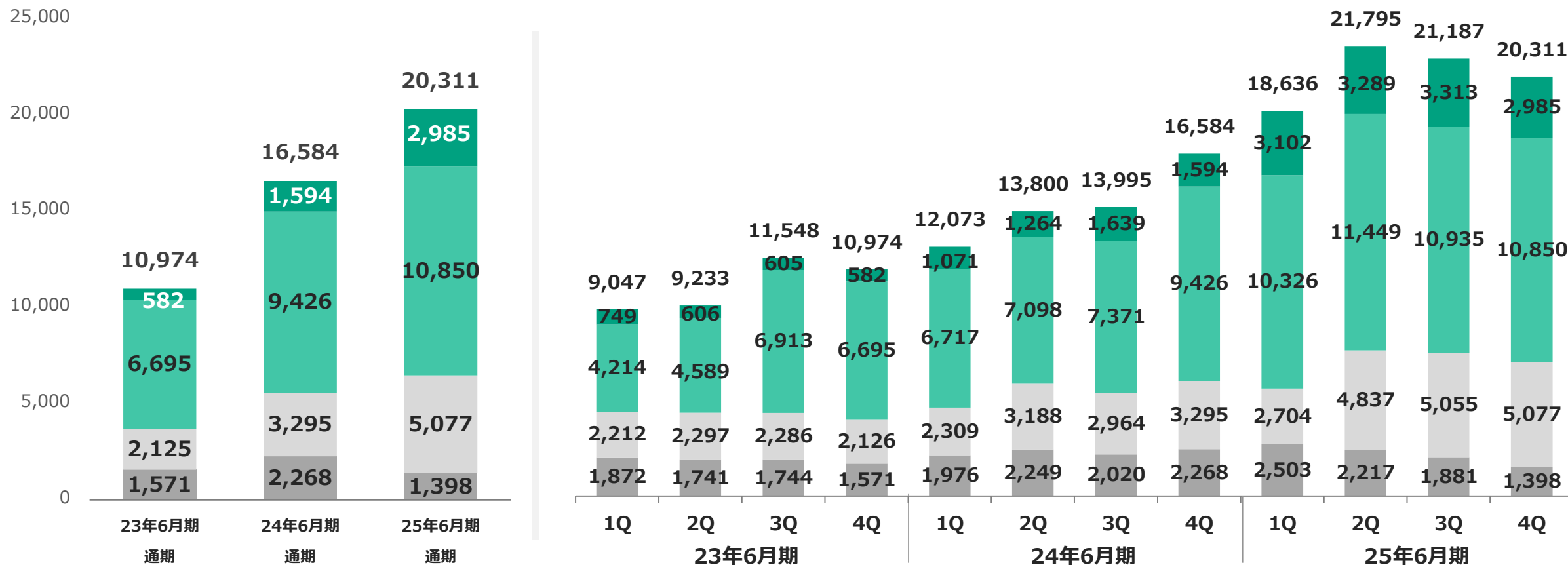


受注残高（製品カテゴリ別）

■ クラウドサービス、セキュリティ、金融機関向けインフラ運用サービス等のストック型案件を中心に増加

■ …システム開発 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
■ …クラウドサービス ■ …セキュリティ

単位：百万円



参考) ストック/フロー別の売上高・受注残高

■ ストック/フロー別 売上高

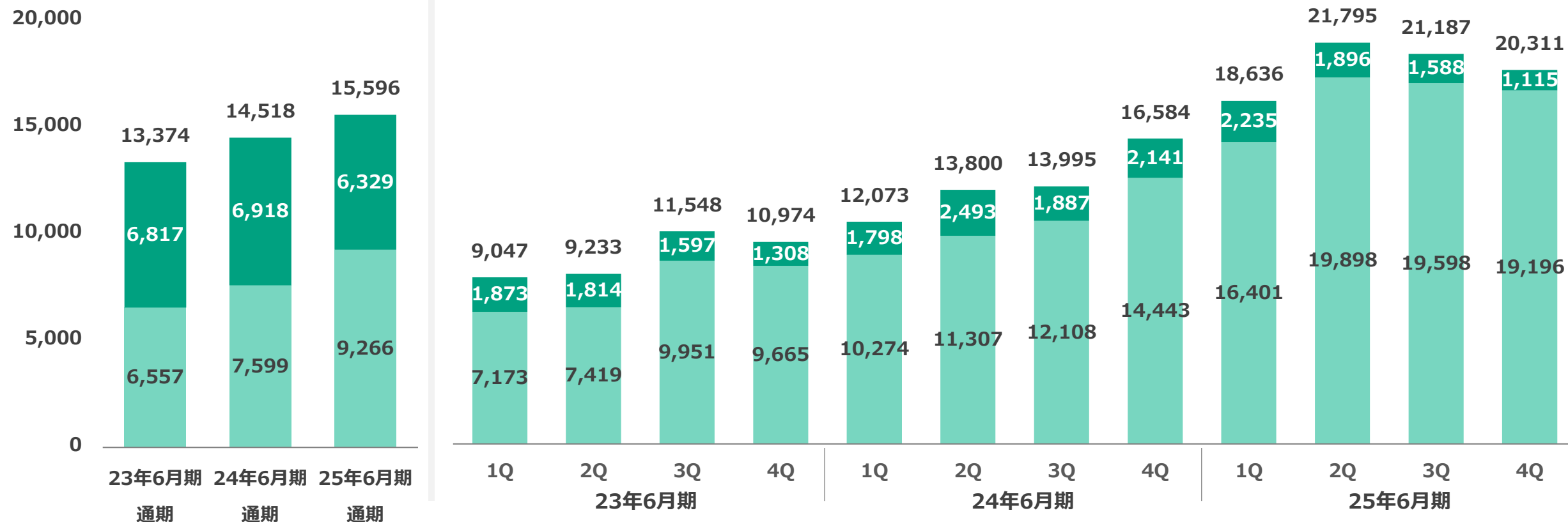
■ ...ストック ■ ...フロー

単位：百万円

■ ストック/フロー別 受注残高

■ ...ストック ■ ...フロー

単位：百万円



ストック：契約の形態や業務の実態等から判断して、定常的に一定規模の売上高を計上できる案件
 (クラウドサービスやセキュリティ製品の利用料、自社サービス、システム運用保守、自社製品や他社製品の保守等)
 フロー：契約の規模や成立時期が定常的ではない案件 (システム開発、自社製品や他社製品の販売等)

2025年6月期 業績と成果

2026年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

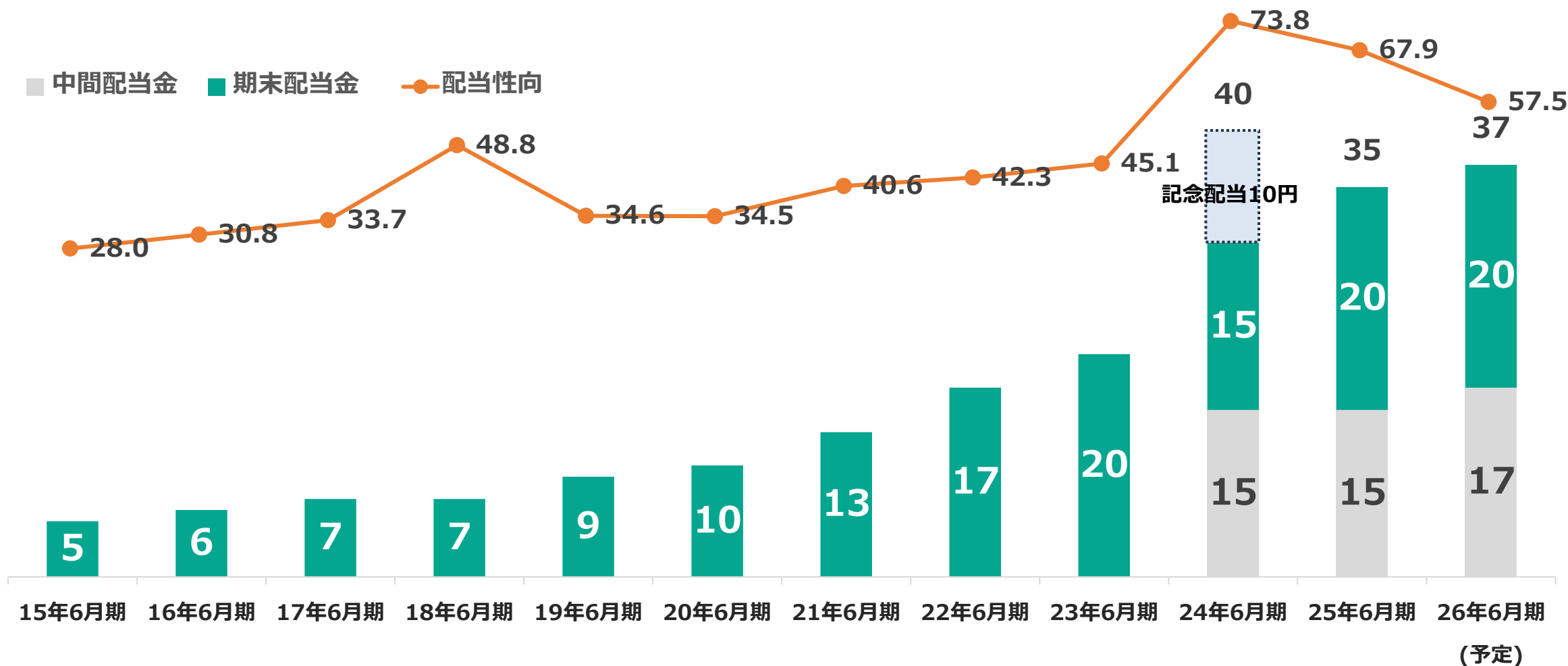
2026年6月期 業績予想

- 売上高は、大手カード会社のシステム更改需要により、当初計画より上積み
- 利益は、セキュリティ領域の製品構成の影響等を受けるが、システム開発・保守やインフラ・運用において、標準化や品質強化等により生産性向上を図り、利益率の改善を目指す

単位：百万円

	25年6月期実績			26年6月期予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	7,540	8,055	15,596	8,000	9,400	17,400	+11.6%
決済	6,166	6,589	12,755	6,540	7,560	14,100	+10.5%
セキュリティ	923	1,098	2,022	1,040	1,210	2,250	+11.2%
データ通信・分析基盤	449	367	817	420	630	1,050	+28.4%
営業利益 (率)	857 (11.4%)	991 (12.3%)	1,848 (11.9%)	950 (11.9%)	1,450 (15.4%)	2,400 (13.8%)	+29.8%
経常利益 (率)	887 (11.8%)	1,002 (12.4%)	1,890 (12.1%)	970 (12.1%)	1,470 (5.6%)	2,440 (14.0%)	+29.1%
当期純利益 (率)	610 (8.1%)	738 (9.2%)	1,349 (8.7%)	670 (8.4%)	1,020 (10.9%)	1,690 (9.7%)	+25.2%

- 基本方針は、配当性向50%を目安とした安定配当
- 25年6月期の期末配当は、期初予想通り、1株あたり20円を予定
- 26年6月期配当は、1株あたり中間配当17円、期末配当20円の年間配当37円を予定



2025年6月期 業績と成果

2026年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

中期経営計画（2025年6月期-2027年6月期）

2030年代を見据えて、事業の多角化と持続的な成長の基盤づくりに取り組む。決済、セキュリティ、テクノロジー領域を中心とした、さまざまな分野で積極的に事業を展開することで、人々の生活に価値をもたらし、新たな信頼性を創造していく

「Transformation for the Future」

- （1）決済領域は、当社独自のプロダクトや決済業界におけるポジションを活かし事業領域を拡大することで持続的な成長を図る
- （2）セキュリティ領域を第二の事業の柱へと成長させる
- （3）コア技術を活用した、データ通信・分析基盤領域を、成長市場へ展開し、決済やセキュリティに続く、第三の柱を創出する
- （4）DNPグループとの連携をより進め、それぞれの顧客基盤を活用しながら事業競争力を強化、グループ・シナジーを創出する



IWIのコア技術：高速・大量のデータ通信/分析処理

2030年代の市場環境に向け、新たな信頼性を創造する製品・サービスを開発し続けていくため、「事業」「技術」「人財」の3つの“変革”に注力する



01 事業の変革

- ①既存事業と新規事業の価値最大化、保有ソリューションの価値最大化
- ②決済領域から新領域への事業拡大
- ③収益構造見直しによる収益性向上。プロダクト指向への回帰

02 技術の変革

- ①コア技術と最先端技術・DXとの掛け合わせによる優位性の確保、価値の最大化、価値の創出
- ②開発、保守、運用の合理化

03 人財の変革

- ①事業企画人財の育成、コンサル機能強化
- ②R&D機能の強化
- ③事業戦略に即した人財流動化

中計初年度は、一部案件において品質強化対応や、自社製品の一括償却等により、利益が未達となった。来期以降は、中計施策に基づき、最終年度の計画達成を目指す

経営目標	24年6月期実績	25年6月期実績	27年6月期計画	25年6月期計画比
売上高	14,518百万円	15,596百万円	19,000百万円	97.5%
営業利益	2,030百万円	1,848百万円	2,850百万円	82.1%
営業利益率	14.0%	11.9%	15.0%	△2.2%
ROE	15.8%	14.4%	最終年度 17.0%以上	△2.6% (最終計画値との差)

事業領域	主な施策	主な課題
決済	決済ソリューションの付加価値向上と領域拡大 ・ FEP主力製品の新バージョン移行と開発効率化 ・ 不正検知ソリューションの多角化と、業界横断型ソリューションの立ち上げ ・ アクワイアリングの機能を活用した領域拡大	・ 主要顧客におけるチャネル拡大 ・ 領域拡大に向けたコンサル機能強化
	品質強化と生産性向上 ・ 開発プロセスの標準化・共通化、自動化の促進 ・ インフラ・運用の機能集約と標準化	・ 事業伸長に伴う開発運用体制の整備
セキュリティ	付加価値向上と販売体制強化 ・ 自社プロダクトの機能拡張 ・ 国内外におけるパートナー戦略 ・ DNPグループの顧客基盤活用	・ 顧客基盤の拡大 ・ 顧客ニーズに合わせた柔軟な対応力
データ通信・分析基盤	コア技術を活用したビジネスの確立 ・ 証券・市場系ビジネスにおける提供価値の拡大 ・ コア技術の用途開発	・ 新規ビジネスへのリソース創出 ・ コア技術の他業界における活用

2025年6月期 業績と成果

2026年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

単位：百万円

24年6月期						25年6月期								
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
材		料		費		10	7	9	5	17	5	6	11	
労		務		費		745	744	737	718	770	747	751	742	
経				費		569	667	661	780	819	814	790	1,003	
外	注	加	工	費		1,085	1,124	1,163	1,151	1,064	1,032	969	901	
当	期	総	製	造	費	用	2,411	2,544	2,571	2,656	2,672	2,600	2,518	2,659
期	棚	首	仕	掛	品	高	216	269	227	275	206	383	243	282
期	棚	末	仕	掛	品	高	269	227	275	206	383	243	282	128
他	勘	定	振	替	高		434	532	539	503	385	429	271	377
当	期	製	品	製	造	価	1,923	2,054	1,984	2,221	2,109	2,311	2,207	2,436

2025年6月期 販売費及び一般管理費



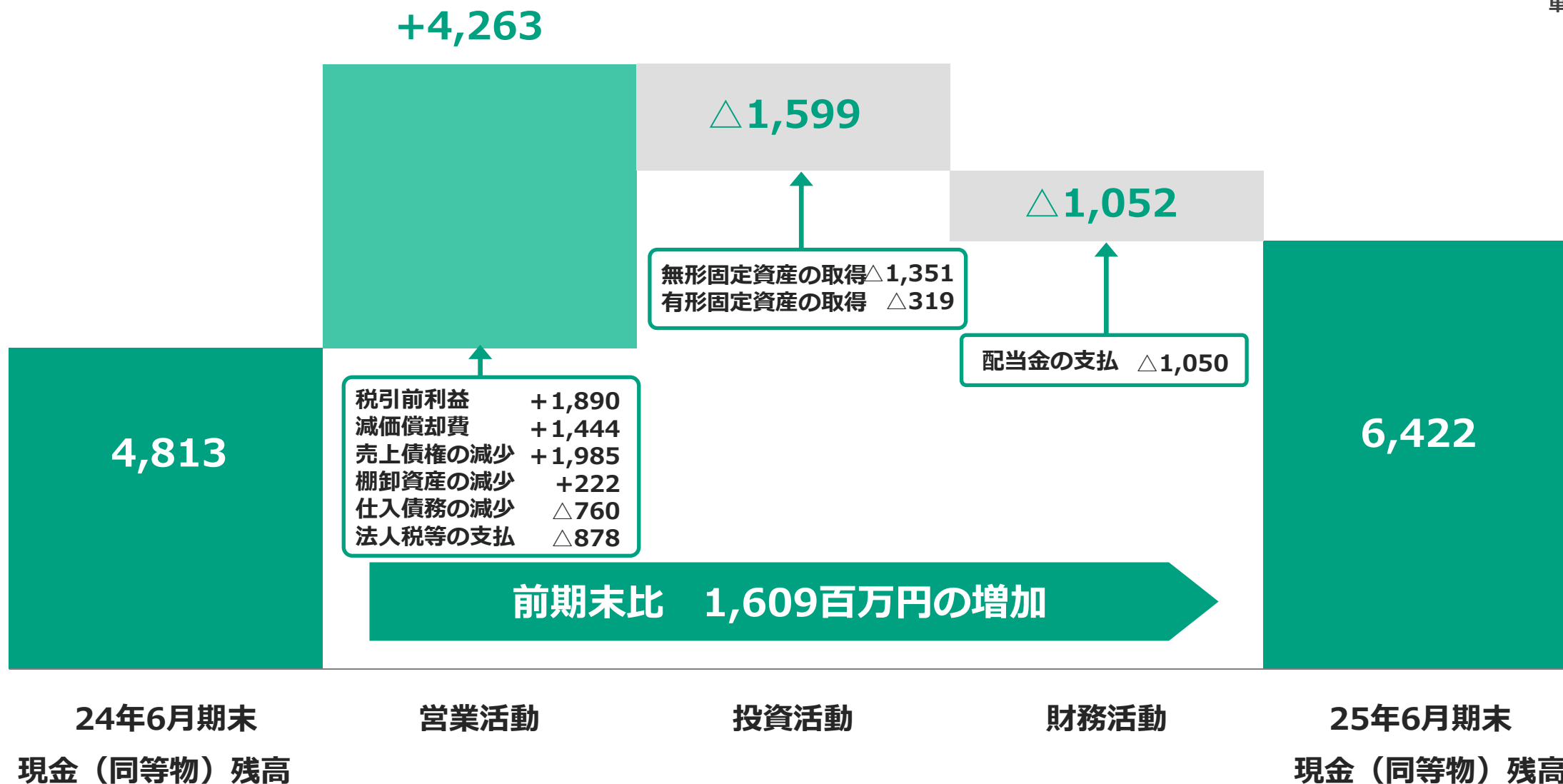
単位：百万円

	24年6月期				25年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
人件費	387	382	381	405	407	428	416	431
採用・教育費	24	12	9	35	18	12	12	40
設備・維持費等	127	108	113	111	108	112	110	115
広告宣伝費	14	17	16	15	13	14	26	12
その他	137	137	115	128	127	131	146	129
合計	691	656	634	694	675	699	713	730

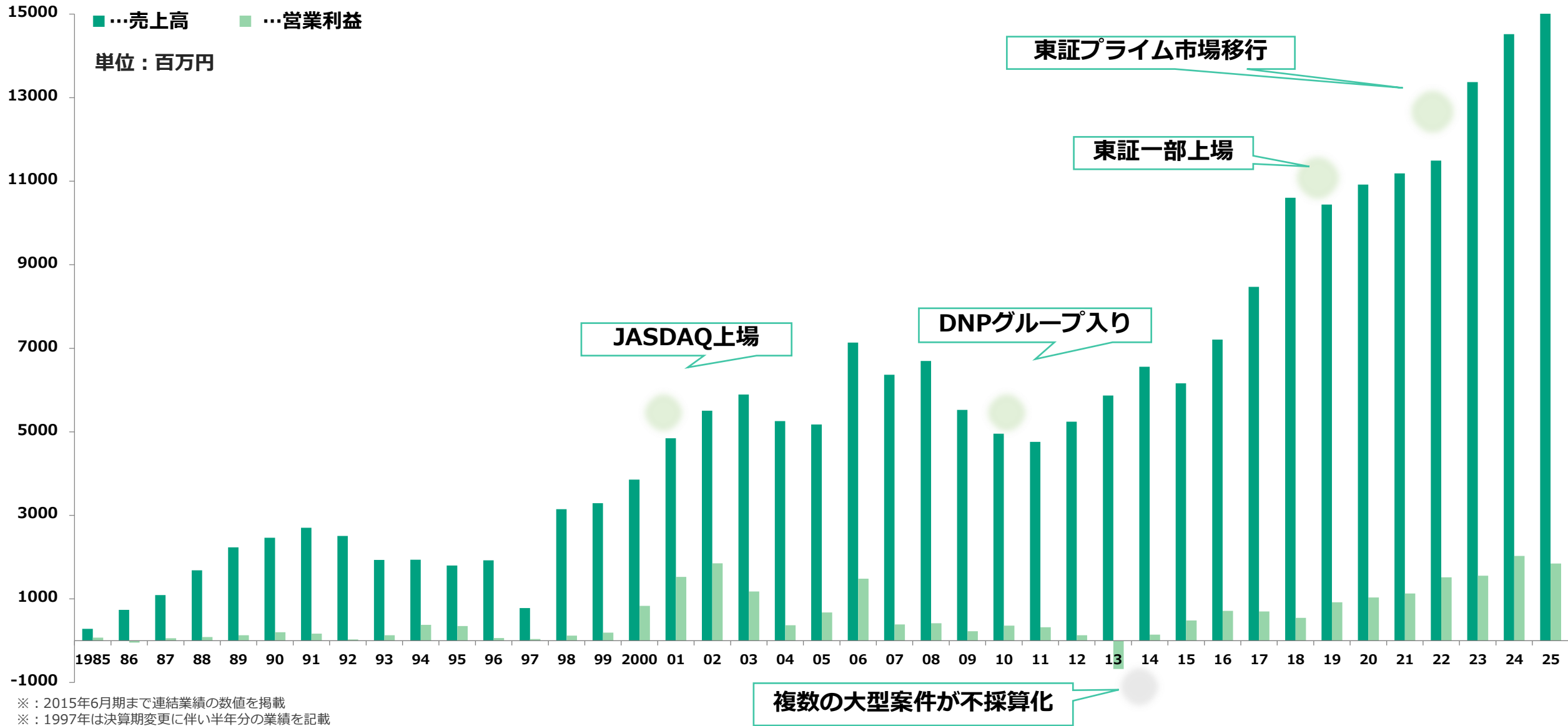
	24年6月期	25年6月期	増減
販管費	2,677	2,818	+141
		人件費	+128
		採用・教育費	+3
		設備・維持費等	△15
		広告宣伝費	+2
		その他	+22

2025年6月期 キャッシュ・フロー

単位：百万円



長期業績推移



参考）2026年6月期 業績予想（製品カテゴリー別）



単位：百万円

	25年6月期実績			26年6月期予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	7,540	8,055	15,596	8,000	9,400	17,400	+11.6%
システム開発	3,479	3,359	6,838	2,670	3,760	6,430	△6.0%
保守	796	822	1,619	820	830	1,650	+1.9%
自社製品・サービス	165	383	548	380	510	890	+62.4%
他社製品（ハードウェア等）	647	440	1,087	900	820	1,720	+58.2%
クラウドサービス	1,527	1,952	3,479	2,190	2,270	4,460	+28.2%
セキュリティ	923	1,098	2,022	1,040	1,210	2,250	+11.2%
営業利益 （率）	857 (11.4%)	991 (12.3%)	1,848 (11.9%)	950 (11.9%)	1,450 (15.4%)	2,400 (13.8%)	+29.8%

設立 1984年12月27日

所在地 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー

従業員数 519名

親会社 大日本印刷株式会社（50.73%*）

資本金 843,750千円

発行済株式数 26,340,000株

株主数 11,536名

(2025年6月末現在)

株式数比率		株主数比率	
個人・その他	35.60%	個人・その他	98.43%
金融機関	3.39%	金融機関	0.05%
国内法人	51.30%	国内法人	0.45%
外国法人等	7.23%	外国法人等	0.82%
証券会社	2.25%	証券会社	0.23%
自己名義株式	0.23%	自己名義株式	0.01%

* 自己株式数を除く発行済み株式数に対する割合



**本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、
当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。**

**本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、
その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、
また今後、予告なしに変更されることがありますので、ご注意ください。**

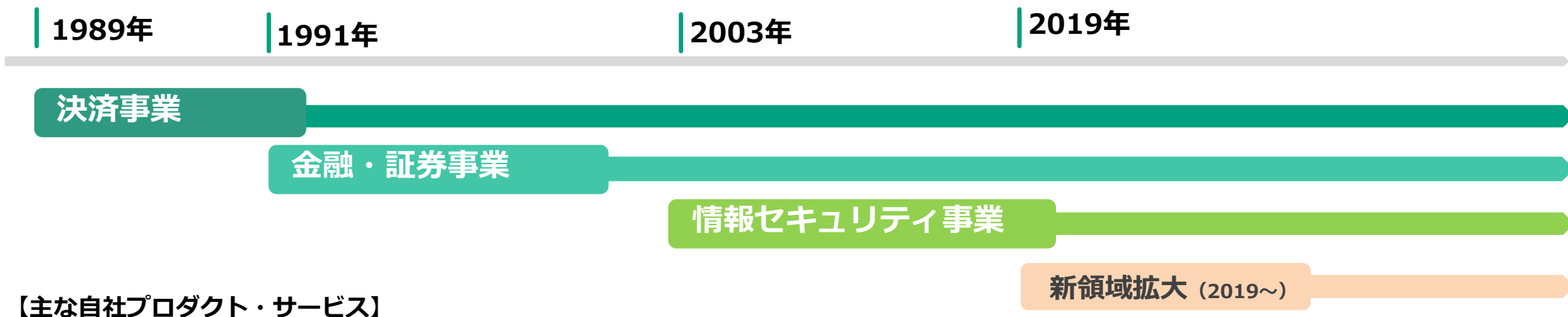
株式会社インテリジェント ウェーブ

経営管理本部 IR・サステナビリティ推進室

E-mail: ir_info@iwi.co.jp

参考) 事業変遷

- ・ 1980年代に、国内における24時間365日オンラインカード決済の実現に貢献
決済ネットワーク接続・認証システム「NET+ 1」を開発し、トップシェアを獲得
- ・ 高速・大容量のデータ通信・分析技術をコア技術に、自社プロダクトを開発
- ・ 2003年に、内部情報漏洩対策製品「CWAT」を開発し、情報セキュリティ事業に参入



1989年
決済ネットワーク接続・
認証システム

NET+1
(ネットプラスワン)

1996年
メッセージング
ミドルウェア

RIX
(リックスエージェント)

1999年
カード不正検知
システム

ACEplus
(エースプラス)

2003年
内部情報漏洩対策製品

CWAT
(シーワット)

2019年
放送業界向けIP放送
パケット監視ソリューション

2016年～
決済システムのクラウドサービス
IOASIS™ IFINDS

2022年
メディアデータ
複合分析ソリューション

2022年～
次世代不正対策
プロジェクト
FARIS
(ファリス)

参考) キャッシュレス決済の仕組み

店舗や、ECサイト等において、キャッシュレス決済を利用すると、いくつかの事業会社のシステムを経由し、決済が完了する

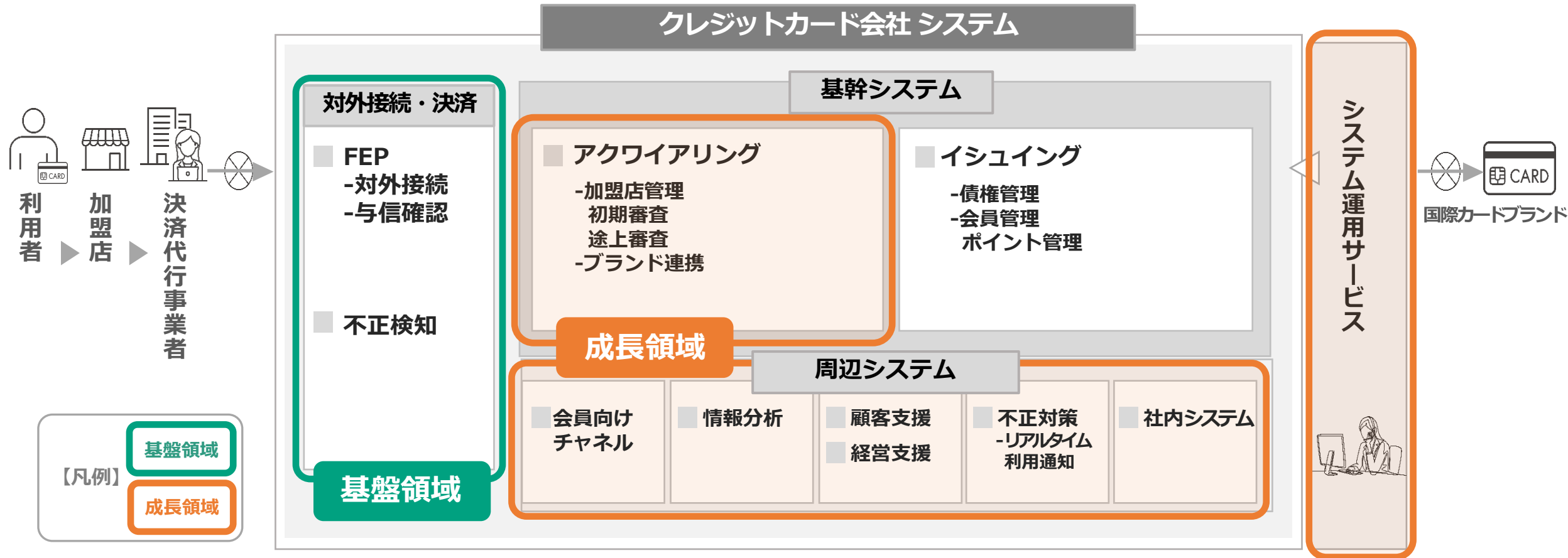
当社領域



※ : 一部ネットワークおよびデータの流れ等を省略しています

参考) クレジットカード会社における当社決済領域

クレジットカード会社システムの対外接続部分において、シェアが高い。
今後は、アクワイアリング分野や、システム運用サービス等を中心に領域拡大を進める



参考) 当社の決済ソリューション

FEP、不正検知、アクワイアリング分野は、自社プロダクト・サービスをベースにシステムを提供

分野	機能	オンプレ開発	クラウドサービス
FEP シェア 70%※	24時間365日無停止で各種決済ネットワークとの接続や、カードの利用認証（オーソリ取引）を実施	■ 決済ネットワーク接続・認証システム NET+1	■ 決済ネットワーク接続・認証サービス
不正検知 シェア 60%※	カード利用時に、リアルタイムに不正利用を検知。ルール判定、AIスコアリング等によって不正対策を実施	■ カード不正検知システム ACEplus	■ カード不正検知サービス IFINDS FARIS ■ FARIS 共同スコアリングサービス Powered by PKSHA Security
アクワイアリング	売上管理、加盟店精算等、アクワイアリング事業に必要な全ての機能を提供	■ アクワイアリング業務システム IOASIS™	■ アクワイアリング業務サービス IOASIS™

※クレジットカード会社主要25社における導入社数（当社調べ）
※クラウドサービスの提供も含む

オンプレ開発	クラウドサービス
 ■ 導入に必要なシステム一式を顧客が保有 一定期間ごとにシステム更改 ■ 顧客ニーズに応じて柔軟にカスタマイズ可能 ■ 大手カード会社の高いシェアを保持	 ■ 当社が保有するシステムを顧客に提供 月額料金制（複数年契約） ■ 初期投資費用が抑えられ、中規模カード会社・新規参入企業などが利用

参考) 当社のセキュリティソリューション

「組織内部からの情報漏洩」と「組織外部からのサイバー攻撃」の双方に、自社製品「CWAT」と海外のサイバーセキュリティ製品を販売。販売についてはDNPグループと協業

分野	機能	製品名
内部情報漏えい対策ソリューション	クライアントPC端末からの情報漏えいを監視。高精度なログ取得により利用状況を「見える化」	■ 内部情報漏えい対策ソフトウェア 
エンドポイントセキュリティ	ランサムウェアなどのマルウェア攻撃からクライアント端末を保護	■ 統合型セキュリティプラットフォーム ■ エンドポイントセキュリティ  
セキュリティインテリジェンス	ダークウェブなどから、組織のリスクとなりうる脅威情報を収集	■ インテリジェンスプラットフォーム 
暗号鍵管 (HSM)	車載ECU向け暗号鍵管理システムを自社開発し、DNPと協業販売	■ 鍵管理アプライアンス製品 
ID管理	SSO(シングルサインオン)や、システムの権限管理、多要素認証などID管理に必要な機能を網羅的に提供	■ ID管理トータルソリューション 